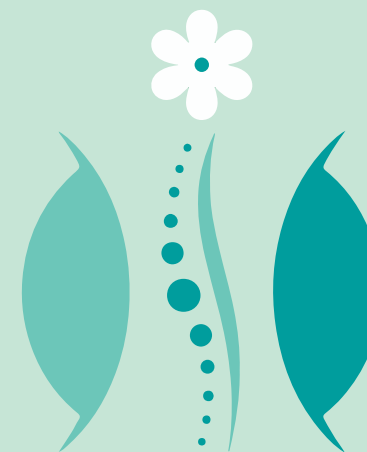


メモ
MEMO



A large rectangular area with a light green background and a thin teal border, containing horizontal dotted lines for writing.



側弯矯正装具

OCGH BRACE

装着のまえに

側弯矯正装具

前後の確認

ベルトがある方が背中側
前面はお腹に少し圧が
かかる形に作られています

ウエストの位置

装具のウエストの位置は
自分のウエストの位置と
必ず合わせて装着します

シワを伸ばして

肌着のシワをしっかり
伸ばしてください
当たるととても痛いです

全体

骨盤からわきの下まで
プラスチックで覆われて
います
矯正に必要な膨らみや
フェルトが付いています



必ず肌着を！

装着が直接地肌に触れ
ないように肌着を着用
してください

ベルトの確認

ベルトは3本！
交互に固定されています

装着

装着は本人が管理します
コツを掴むと装着も簡単
にできるようになります



覚えておこう

ベルトの取り付け位置
上のベルトは 右
中のベルトは 左
下のベルトは 右

装着して みよう！

装具の装着方法

1 ウエストの位置を合わせる

装具のウエストの位置を自分のウエストの位置に合わせて体にはめます。

2 ベルトを締めます

まず、真ん中のベルトを仮止めます。
次に下のベルト、上のベルトを締めます。
真ん中 → 下 → 上 の順に締めていきましょう。



3 ベルトを締めるコツ

両手でベルトの先を持ち、円を描くように遠くにベルトを引っ張ります。
締められる分だけ引っ張りましょう。



4 しっかり締めていこう

上下のベルトを締めると、締めただけ真ん中のベルトが緩むので締め直しましょう。
真ん中のベルトを締め直すと上下のベルトが緩むので再度締め直しましょう。
これを繰り返していきます。

始めは少しずつ練習しながら締めてください。家族・友達・先生等に手伝ってもらいましょう。慣れてくると自分で締められるようになります。

装着後の注意点・工夫

患者様によって対応は様々ですが、これまで何ったご意見や工夫などを記載しています。

● 学校生活

登校時も装着が必要な場合、事前に学校へ相談しておくことで学校生活がスムーズです。多くの方は担任と保健室の先生に相談しています。思春期に多い疾患なので知っている方も多く保健室の先生には着替えて保健室を借りる、装具装着のお手伝いを相談しています。体育座りがしにくいので足を崩す許可を得る、学校によっては最後尾に移動・椅子を用意してくれる場合があります。体育など運動時には装具を外してください。動きにくいと、もし誰かがぶつかった際に装具は固いので怪我をする恐れがあります。1日運動（体育会や部活練習等）する場合は装具を外して登校、帰宅後に着など状況に応じてください。クラスメイトに装具療法を伝えている方もいます。伝えることでさまざまな配慮やお手伝いをしてきているそうです。

● 食事

食事中苦しくて普段より食べられない、吐き気がする場合
食事の前にベルトを緩めるか、装具を外して食べるようにしましょう。
食後おなか落ち着いてから装具のベルトを締め直す、または装着するようにしてください。

● 服装の工夫

装具を装着することで服装を工夫する必要ができてきます。
装具をしていても目立ちにくい服装は少し大きめサイズ、ゆとりのある服層を選ぶ、色の濃い服、ズボンなどはウエストがゴム仕様のものにするとう便利です。

生活の中で困ったこと、工夫したことがありましたら、お話を伺えたらうれしいです。

装着後の注意点・工夫

患者様によって対応は様々ですが、これまで伺ったご意見や工夫などを記載しています。

●汗対策

夏場は汗をかきやすく装具の中は熱がこもりやすいです。匂い対策や衛生面を考えて汗の吸収し易い素材の肌着を使用してください。

こまめに汗を拭くことや汗拭きシート冷感スプレーを使用しています。

昼休みや体育などの着替えのタイミングで肌着を交換などされています。

就寝時に必ずエアコンを使用して熱中症にならないようにしてください。

●下着の工夫

装具の上にパンツを覆い被せる履くとトイレの際に脱ぎ着が楽です。

生理中にパンツのズレが気になる方はパンツを2枚履き、スポーツ用のインナーパンツを重ね履きしてズレ予防しているそうです。

ブラジャーのワイヤーや縫い目の段差で痛みが生じる事があります、ブラトップやノンワイヤー等段差の少ない下着を検討してください。

●診察を受ける前に

前日の夜から装具を外して診察を受けましょう。

診察当日は必ず装具は持って行ってください。



装具療法をされている患者様に日常生活での問題やその工夫をどのようにされているのかアンケートを実施しました。
ご協力いただいたアンケートをまとめています。
上記QRコード読み取ると閲覧のみ可能です。
生活の参考になれば幸いです。

装着後の注意点・工夫

患者様によって対応は様々ですが、これまで伺ったご意見や工夫などを記載しています。

●装具のメンテナンス

・汚れが気になる場合は水で薄めた中性洗剤を含ませたタオルで汚れを拭きとってください。

・乾かす場合は必ず陰干ししてください。

・修理が必要になった場合は装具会社に連絡してください。

・修理には診察が必要な場合と費用が発生します。

●からだのチェック

・入浴時などに自分の体に赤み・傷・黒ずみがないかチェックしてください。

・保湿クリーム・ワセリンなどを塗ってケアすると黒ずみ対策になります。

●赤み・傷・痛みがある

下着のシワや縫い目で痛みが生じる場合があります。下着を整えてみてください。

赤みが生じた場合、装具を外し様子を見ましょう。

改善がない場合は、医師または装具会社にご相談ください。

●成長して装具が合わなくなった

ベルトの締め加減は自分で調整します。

初回より辛く感じたらベルト印まで締めずに緩めてください。

まず下のベルトから緩めていくようにしてください。骨盤周りは幹部組織が多いので締め易いですが、成長変化が大きい箇所です。締め過ぎると傷や痺れ等生じる恐れがあります。

成長して合わなくなった場合は、十分な矯正効果が得られない可能性があります。

成長の変化を医師に必ず報告するようにしてください。

鈴木義肢装具株式会社

〒581-0081 大阪府八尾市南本町9丁目9番24号

TEL: 072-993-2457

E-mail: info@suzuki-po.co.jp